

取扱いの趣旨

有床義歯内面適合法は、義歯床の粘膜面を一層削除し、新たに義歯床の床裏装を行う治療であり、低位咬合で当該治療を行うことは適切でないことから、当該病名で有床義歯内面適合法の算定は原則として認められない。

支払基金が公表している取扱いの全文

【歯冠修復物及び欠損補綴】

《令和3年2月22日》

177 有床義歯内面適合法②

○ 取扱い

原則として、「低位咬合」病名で、有床義歯内面適合法の算定を認めない。

○ 取扱いを定めた理由

有床義歯内面適合法は、義歯床の粘膜面を一層削除し、新たに義歯床の床裏装を行う治療であることから、低位咬合で当該治療を行うことは適切でないと考えられる。

グラフの見方

検証不要(差異なし)

1 棒グラフ（該当レセプトの審査結果）

有床義歯内面適合法を算定している目視対象レセプト1万件当たり、条件（低位咬合に対して有床義歯内面適合法を算定）に該当するレセプト件数

2 折れ線グラフ

該当レセプトのうち、有床義歯内面適合法が
査定・返戻となった割合

【棒グラフ凡例】 審査の結果

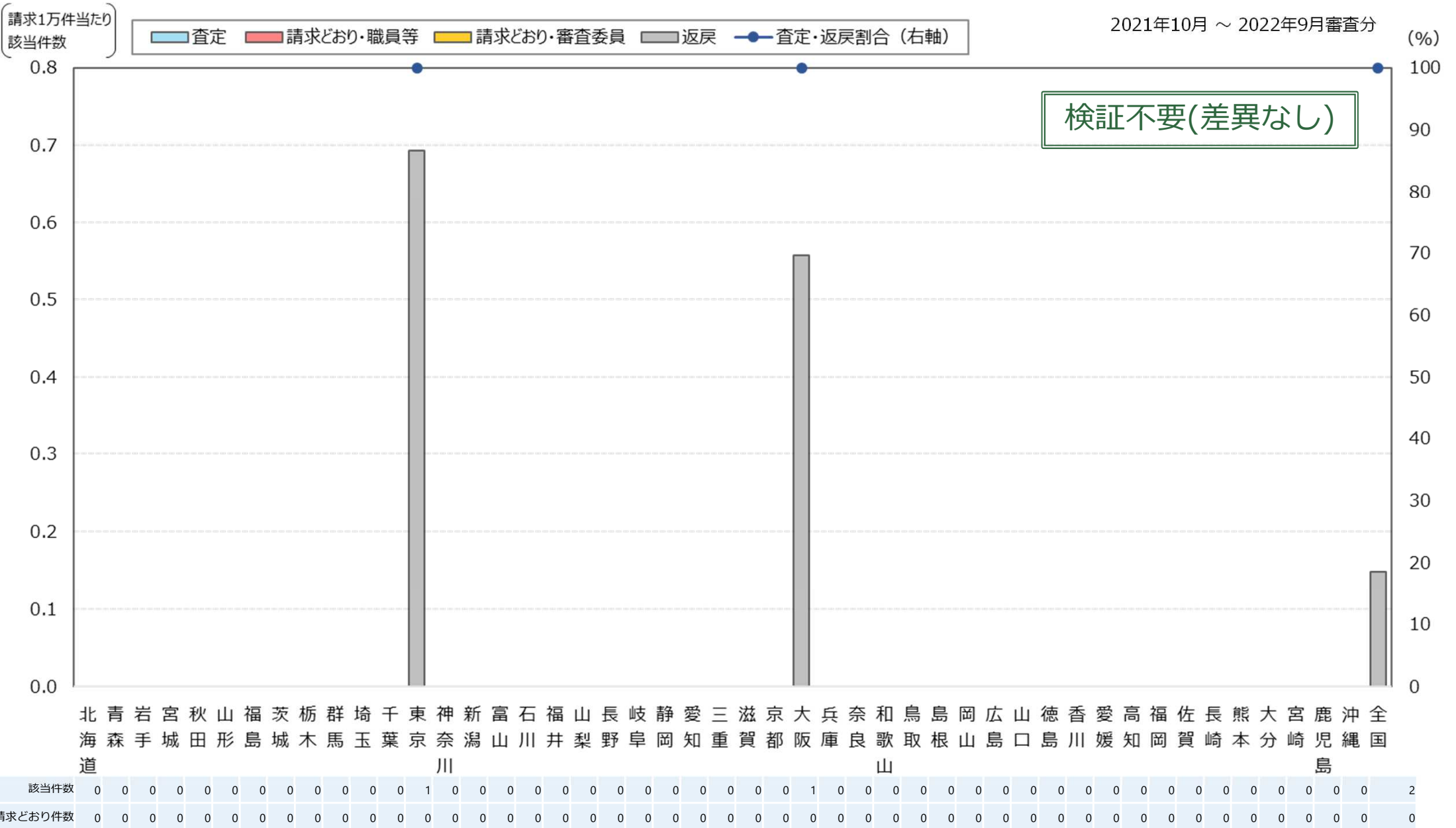
| | | |
|--------------|---------------|----------|
| 査定 | 返戻 | : 取扱いどおり |
| 請求どおり 職員等 | 請求どおり 審査委員 | : 検証が必要 |

審査結果の概要

- 全国の査定・返戻割合 100%
- 該当レセプトはすべて取扱いに基づく審査が行われている

| 検証観点 | 検証を要する都道府県 | 備考 |
|----------------|------------|----------------|
| 査定・返戻割合が低い都道府県 | | 査定・返戻割合の低い順 |
| 請求どおり・職員等 | | 対象1万件当たり件数の多い順 |
| 請求どおり・審査委員 | | // |

| | | |
|------------|----------------------|----|
| 該当件数（全国） | 低位咬合に対して有床義歯内面適合法を算定 | 2件 |
| 取扱いに基づく審査 | 査定・返戻の計 | 2件 |
| 検証を必要とする審査 | 請求どおり | 0件 |



【該当件数】 低位咬合に対して有床義歯内面適合法を算定しているレセプト件数